

【地域活性化総合特区】競争力と持続力を持つ交流6次化モデルの構築特区

〔山梨県 南アルプス市〕

【目標】

○交流6次化による競争力と持続力のある『農業空間と地域空間』の創造・展開・継承を図る地域活性化モデルの構築

【取組概要】

○規制の特例措置や財政、金融上の支援措置を総合的に活用しながら、地元農産物の生産・加工・販売の一体化、農業と観光との融合、生産性や販路拡大等による「6次産業化」の創出を図る。

○都市農村交流、移住・定住情報の受発信、周遊滞在型観光の定着、自然体験や環境教育等の「交流移住策」の創出を図る。

○南アルプスの玄関口となる「中部横断自動車道南アルプスIC周辺」に“6次産業化×交流移住策”のハブ機能を有する「地域資源を活用した新産業拠点＝フモット南アルプス」を展開し、参入企業と地域活動との多様な連携を促すことで、地域のブランド力を高め、地域経済を活性化させ、持続可能なまちづくりに繋げていく。

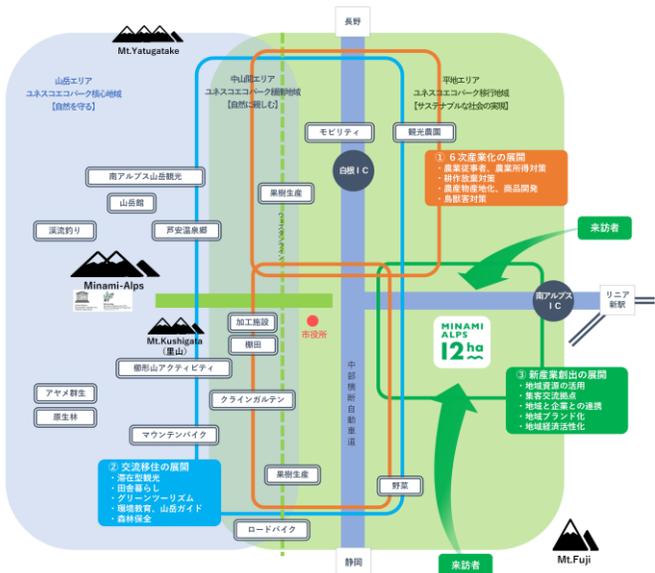
【金融支援措置（利子補給金）を活用した主な事業】

○民間活力の導入による集客交流施設の整備により、「地域資源を活用した新産業拠点」の創出を図る。 ※これまでの活用実績：1件

【規制の特例措置を活用した主な事業】

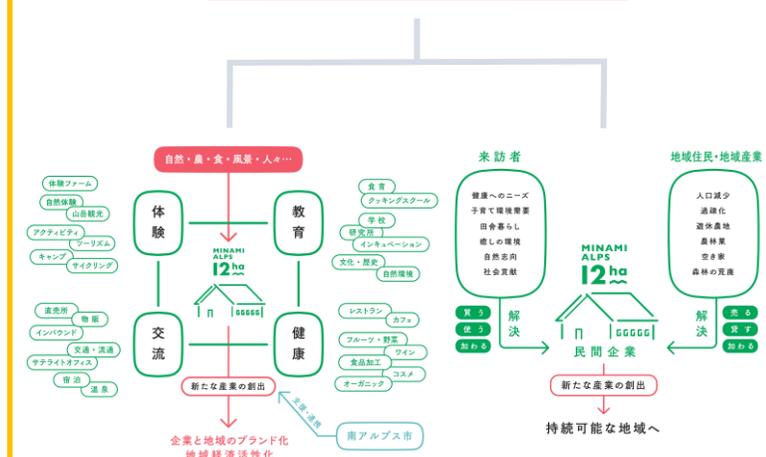
○特産酒類（果実酒）の製造事業の特例措置により、地域の特産物（ぶどう）を活かした小規模ワイナリーの参入を促し、「6次産業化」の創出を図る。

特区の展開イメージ



新産業拠点のイメージ

（目的）
地域のブランド化と地域経済の活性化
を図るとともに、持続可能な地域へ



fumotto 南アルプス
4月11日(金)
グランドオープン!

新たな街の玄関口、
持続可能なまちづくりへ

2016年、南アルプスIC周辺の事業用地の開発。ロケイトがスタートし、本市の重要施設として取り進められました。この場所は、南アルプス市の玄関口に位置し、将来的にもっとも重要な位置づけとなるエリアです。人が集い、地域をつくる事業交流拠点を、土地利用の方針として掲げて進めた「fumotto南アルプス」が、開業もなくソフトオープンを進めます。

この起爆剤は、農産物の拡大・雇用の創出、交流人口の増加、さらには観光産業などの活性化や南アルプスIC周辺エリアの新たな展開を図るとともに、50年後、100年後に向けて、持続可能なまちづくりを目指します。

1 人々が集う
大型商業エリア

国内トップレベルの集客力と、独自の魅力でショッピングが楽しめる集客型の商業施設「コストコ」。

2 地域とつながる
地域交流エリア

南アルプス市と山梨の魅力を発信する体験型複合施設。県内企業が集まる「ヒルヤマナシ」が運営。

3 もっとつながる
交通ハブ拠点エリア

さらなる賑わいの中がけ可能な集客力と、観光、商業施設は臨時駐車場として活用。

2025.4.11 OPEN!

2024.6.30 先行OPEN!